

9	つや合成樹脂 エマルションペ イント塗り (EP-G) (7.9.2)～(7.9.5) (表7.9.1)～ (表7.9.4)	種別 <table><tr><th>下地</th><th>種別</th></tr><tr><td>コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()</td></tr><tr><td>木部 (屋内)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr><tr><td>鉄鋼面 (屋内)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面 (屋内)</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr></table>	下地	種別	コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()	木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()		
下地	種別														
コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()														
木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種														
鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種														
亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種														
10	合成樹脂エマ ルションペイン ト塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 ・ B種 工程1の着色 ・ 適用する ・ 適用しない	種別 ・ A種 ・ B種 工程1の着色 ・ 適用する ・ 適用しない												
11	ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.11.2) (表7.11.1)	種類 ・ ビグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り オイルステイン塗りの工程、塗料 ()	種類 ・ ビグメントステイン塗り ・ オイルステイン塗り オイルステイン塗りの工程、塗料 ()												
12	ステン塗り (7.12.2) (表7.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種	種別 ・ A種 ・ B種												
13	木材保護塗料 塗り (WP) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 ・ A種 ・ B種	種別 ・ A種 ・ B種												
8 の 1	(一般事項) ①適用範囲 (8.1.1) (8.1.2)	工事内容 ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨ブレースの設置工事 ・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 連続繊維補強工事 ・ 耐震スリット新設工事 ・ 免震改修・制振改修工事 工事種別 ○鉄筋工事 ・ あと施工アンカー工事 ○コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修、制振改修工事 ・ 土工事及び地業工事													
8 の 2	①既存部分の撤去等 (8.21.2) ②既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)	撤去の範囲 ○図示 (図面番号: A12) ・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分 ・ () 既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 本工事の範囲 ・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分 ・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。 ・ () 撤去範囲 ・ 図示 (図面番号:) 既存構造体の撤去 撤去範囲 ○図示 (図面番号: A12) はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 <table><tr><th>鉄筋の切断</th><th>範囲</th><th>適用</th></tr><tr><td>・ 既存鉄筋は切断せず残す</td><td>・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし</td><td></td></tr><tr><td>○コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する</td><td>○図示 (図面番号: A12) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし</td><td></td></tr><tr><td>・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する</td><td>・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()</td><td></td></tr></table> はつりだした鉄筋の処置 ○鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。 ・ () はつりだした鉄骨の処置 ・ 発泡スチロール等で養生する。 ・ () (既存部分の処理) 3 既存構造体コンクリートの表層目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	鉄筋の切断	範囲	適用	・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし		○コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	○図示 (図面番号: A12) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし		・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()		既存構造体コンクリート面の表層目荒らし 目荒らし程度 ・ 平均深さ2～5mmで最大深さ5～7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15～30%程度の面積となるように施す。 ・ 図示 (図面番号:)
鉄筋の切断	範囲	適用													
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし														
○コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	○図示 (図面番号: A12) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし														
・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ()														

8 の 3耐震改修工事鉄筋工事	<div>(1)鉄筋(表8.2.1)(表8.2.1)</div> <div>2溶接金網(表8.2.2)</div> <div>3加工(表8.3.2)</div> <div>(4)鉄筋の継手及び定着(表8.3.4)</div>	<div>材料改修標準仕様書(表8.2.1)による</div> <table><tr><th>種別</th><th>径(mm)</th></tr><tr><td>○SD295</td><td></td></tr><tr><td>・SD345</td><td></td></tr><tr><td>・SD390</td><td></td></tr><tr><td>・()</td><td></td></tr></table> <div>網目の形状、寸法及び鉄線の径</div> <table><tr><th>網目の形状、寸法</th><th>鉄線の径(mm)</th></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> <div>90°未満の折曲げの内法直径 ・図示（図面番号： ）</div> <table><tr><th></th><th>径</th><th>部位</th></tr><tr><td>重ね継手</td><td>○D16以下</td><td></td></tr><tr><td>ガス圧接</td><td>・D19以上</td><td></td></tr></table> <div>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</div> <div>○改修標準仕様書(表8.3.4)(3)(7)による</div> <div>・図示（図面番号： ）</div> <div>継手位置</div> <div>・各部配筋参考図による</div> <div>・図示（図面番号： ）</div> <div>先組み工法等</div> <div>・柱・梁主筋の継手を同一箇所にする</div> <div>鉄筋の定着長さ</div> <div>○改修標準仕様書(表8.3.4)による</div> <div>・（表8.3.4）のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 図示（図面番号： ）</div> <div>・図示（図面番号： ）</div> <div>機械式定着工法 適用箇所（ ） 種類（ ）</div> <div>帯筋組立の形、継手及び定着</div> <div>・図示（図面番号： ）</div>	種別	径(mm)	○SD295		・SD345		・SD390		・()		網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)				径	部位	重ね継手	○D16以下		ガス圧接	・D19以上		<div>(5)鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(表8.3.5)(表8.3.6)</div> <div>6各部配筋</div> <div>7ガス圧接(表8.3.8)</div> <div>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)</div> <div>8割裂補強筋(表8.21.6)(表8.22.7)</div> <div>(9)鉄筋の機械式継手及び溶接継手(表8.4.2)(表8.4.3)</div>	<div>鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ○（ 30 ）mm</div> <div>・図示（図面番号： ）</div> <div>圧接完了後の試験</div> <div>超音波探傷試験 ・行う ・行わない</div> <div>割裂補強筋の適用</div> <table><tr><th>種類</th><th>材料</th><th>材種</th><th>径</th><th>本数・ピッチ</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td rowspan="2">・スバイラル筋</td><td>・鉄筋コンクリート用棒鋼</td><td>・R235</td><td>・6Φ</td><td>スバイラルの径(mm)</td><td rowspan="2">・図示（図面番号： ）</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・9Φ</td><td>()</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・()</td><td>スバイラルのピッチ(mm)</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>()</td><td></td></tr><tr><td>・はしご筋</td><td>・鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋)</td><td>・295A</td><td>・10</td><td>壁内方向筋</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>()</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>壁面外方向筋</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>()</td><td></td></tr></table> <div>・機械式継手</div> <div>種類（ ） 適用箇所（ ）</div> <div>性能（ ） 鉄筋相互のあき（ ）mm</div> <div>試験項目（ ） 方法（ ）</div> <div>不合格となった継手部への措置等（ ）</div> <div>○溶接継手</div> <div>工法（フレア溶接） 適用箇所（既設鉄筋接合部）</div> <div>性能（ ） 鉄筋相互のあき（ ）mm</div> <div>試験対象（ ）</div> <div>不合格となった溶接部への措置等（ ）</div>	種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所	・スバイラル筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼	・R235	・6Φ	スバイラルの径(mm)	・図示（図面番号： ）	・()	・()	・9Φ	()				・()	スバイラルのピッチ(mm)						()		・はしご筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋)	・295A	・10	壁内方向筋			・()	・()	・()	()						壁面外方向筋						()	
種別	径(mm)																																																																														
○SD295																																																																															
・SD345																																																																															
・SD390																																																																															
・()																																																																															
網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)																																																																														
	径	部位																																																																													
重ね継手	○D16以下																																																																														
ガス圧接	・D19以上																																																																														
種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所																																																																										
・スバイラル筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼	・R235	・6Φ	スバイラルの径(mm)	・図示（図面番号： ）																																																																										
	・()	・()	・9Φ	()																																																																											
			・()	スバイラルのピッチ(mm)																																																																											
				()																																																																											
・はしご筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼(異形鉄筋)	・295A	・10	壁内方向筋																																																																											
	・()	・()	・()	()																																																																											
				壁面外方向筋																																																																											
				()																																																																											
8 の 4耐震改修工事コンクリート工事	(コンクリート工事一般事項) <div>○コンクリートの種類及び強度(表8.1.3)(表8.1.4)</div> <div>(表8.9.1)(表8.9.2)(表8.9.1)</div> <div>(コンクリート)</div> <div>(3)コンクリートの材料(表8.2.5)(表8.2.3)</div>	<div>コンクリートの種類</div> <div>○Ⅰ類 ・Ⅱ類</div> <div>普通コンクリートの設計基準強度</div> <table><tr><th>設計基準強度F_c[N/mm²]</th><th>適用範囲</th><th>気乾単位容積質量</th><th>スランプ</th></tr><tr><td>・24</td><td></td><td>・2.3t/m³程度</td><td></td></tr><tr><td>○(18)</td><td>土間</td><td>2.3t/m³</td><td>S=15</td></tr></table> <div>軽量コンクリートの設計基準強度</div> <table><tr><th>設計基準強度F_c[N/mm²]</th><th>種類</th><th>適用箇所</th><th>気乾単位容積質量</th><th>スランプ</th></tr><tr><td rowspan="2">・</td><td>・1種</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・2種</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・()</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <div>合板せき板を用いる場合の打渡し仕上げの種類</div> <div>・A種 ・B種 ・C種</div> <div>コンクリートの仕上りの平たんさ</div> <div>○a種 ・b種 ・c種</div> <div>セメントの種類</div> <div>○普通ポルトランドセメント</div> <div>・高炉セメントA種</div> <div>・シリカセメントA種</div> <div>・フライアッシュセメントA種</div> <div>・()</div> <div>・高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種</div> <div>適用箇所（ ）</div>	設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ	・24		・2.3t/m ³ 程度		○(18)	土間	2.3t/m ³	S=15	設計基準強度F _c [N/mm ²]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランプ	・	・1種				・2種				・()																																																		
設計基準強度F _c [N/mm ²]	適用範囲	気乾単位容積質量	スランプ																																																																												
・24		・2.3t/m ³ 程度																																																																													
○(18)	土間	2.3t/m ³	S=15																																																																												
設計基準強度F _c [N/mm ²]	種類	適用箇所	気乾単位容積質量	スランプ																																																																											
・	・1種																																																																														
	・2種																																																																														
・()																																																																															

	<div>骨材</div> <div>アルカリシリカ反応性による区分</div> <div><div><div>○</div><div>A</div></div><div><div>・</div><div>B</div></div></div> <div><div>・</div><div>特殊な骨材の使用</div><div><div>・</div><div>フェロニッケルスラグ骨材</div><div>・</div><div>銅スラグ細骨材</div><div>・</div><div>電気炉酸化スラグ骨材</div><div>・</div><div>再生骨材H（普通エコセメントを使用するコンクリートに限る）</div></div></div>
<div><div>④</div><div>混和材料</div><div>(8.2.5)</div></div>	<div><div>○</div><div>混和剤</div><div>混和剤の種類</div><div><div><div>○</div><div>改修標準仕様書(8.2.5)(4)(a)による</div><div><div>・</div><div>図示（図面番号：）</div></div></div></div><div><div>・</div><div>混和材</div><div>混和材の種類</div><div><div>・</div><div>改修標準仕様書(8.2.5)(4)(b)による</div><div>・</div><div>図示（図面番号：）</div></div></div></div>
<div>5</div> <div>調合管理強度</div> <div>(8.2.5)</div> <div>(8.8.3)</div> <div>(8.10.2)</div>	<div>構造体強度補正值（S）</div> <div><div>・</div><div>3N/mm2</div><div>・</div><div>6N/mm2</div><div>・</div><div>（）</div></div>
<div>6</div> <div>養生</div> <div>(8.7.7)</div>	<div><div>・</div><div>普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間</div><div>（）</div></div>
<div>7</div> <div>型枠</div> <div>(8.2.7)</div> <div>(8.7.8)</div>	<div>材料</div> <div><div>・</div><div>複合合板（厚さ</div><div>・</div><div>12mm</div><div>・</div><div>（）</div></div>

スリーブ

・

材種（）

規格（）

型枠存置期間及び取外し

・

普通エコセメント使用の場合の最小存置期間

（）

8 暑中コンクリート (8.10.2)	構造体強度補正值（S） ・ 6N/mm2 ・ （）																																								
9 無筋コンクリート (8.11.1)	コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ （） 設計基準強度 ・ 18N/mm2 ・ （） スランプ ・ 15cm ・ 18cm ・ （）																																								
(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法) 10 コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)	部位別のコンクリートの打設工法の指定	補強工法	打設工法	部位		---------------------------------	--	---		現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	<div><div>・</div><div>流込み工法</div><div>改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)</div></div>	<div><div>・</div><div>全ての増設壁</div><div>・</div><div>図示（図面番号：）</div><div>・</div><div>（）</div></div>			<div><div>・</div><div>圧入工法</div><div>改修標準仕様書(8.21.8)(1)(f)及び(3)</div></div>	<div><div>・</div><div>全ての増設壁</div><div>・</div><div>図示（図面番号：）</div><div>・</div><div>（）</div></div>			<div><div>・</div><div>工法指定なし</div></div>	<div><div>・</div><div>全ての増設壁</div><div>・</div><div>図示（図面番号：）</div><div>・</div><div>（）</div></div>			<div><div>・</div><div>（）</div></div>	<div><div>・</div><div>図示（図面番号：）</div><div>・</div><div>（）</div></div>		鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	<div><div>・</div><div>流込み工法</div><div>改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2)</div></div>	<div><div>・</div><div>全ての増設壁</div><div>・</div><div>図示（図面番号：）</div><div>・</div><div>（）</div></div>			<div><div>・</div><div>圧入工法</div><div>改修標準仕様書(8.21.8)(1)(f)及び(3)</div></div>	<div><div>・</div><div>全ての増設壁</div><div>・</div><div>図示（図面番号：）</div><div>・</div><div>（）</div></div>			<div><div>・</div><div>工法指定なし</div></div>	<div><div>・</div><div>全ての増設壁</div><div>・</div><div>図示（図面番号：）</div><div>・</div><div>（）</div></div>			<div><div>・</div><div>（）</div></div>	<div><div>・</div><div>図示（図面番号：）</div><div>・</div><div>（）</div></div>	
(8.23.6)	柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ・ 発泡プラスチック保温材等を埋込む ・ （） 柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示（図面番号：） 打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ ・ 図示（図面番号：） ・ 60mm ・ （）																																								
11 増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	・ 図示（図面番号：）																																								

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認 工事名称 南部保育所児童用トイレ改良工事 図面名称 建築工事 特記仕様書 5 縮 尺 A3:NS 図面番号 A05	設計日
			一級建築士 第320204号	一級建築士 第378328号	一級建築士 第360917号					R5/8/31
			前野 将輝	加藤 早妃	前田 祐作					